



旧中山道ウォーキング 2020 特別編

安中市 観光課

旧中山道ウォーキングは、安中市と上毛新聞社が毎年実施しているウォーキングイベントです。信越本線新線が1997年に横川～軽井沢間で廃線となったことから、碓氷峠の魅力を再発見するために始まりました。

2020年においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、多くのイベント等が中止となっていることから開催が危ぶまれていましたが、例年とは異なるコース設定で三密を避ける為にバス利用を行わない等工夫をこらし、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を講じることにより、実施することができました。今年は特別企画として「松井田城址見学コース」、「廃線&アプトの道コース」の2コースを開催しました。

■ 松井田城址見学コース

このコースは、安中市役所松井田支所を出発し、西松井田駅、国道18号沿いを通過し、松井田城址入口から山城を巡ります。松井田城址は、鎌倉幕府5代執権北条時頼の命により築城され、1590年の小田原征伐(北条征伐)で落城した山城です。戦国時代には織田氏や後北条氏などが支配をしており、関東の支配における重要な山城であったといわれています。山城としては県内最大級の規模をもち、多くの見所があります。参加者は6班に分かれて時間をずらして出発しました。それぞれのグループに松井田城址保存会のガイドが付き、城址を解説しました。県外からの初めてのお客様も多く、松井田城の存在を知っていただくとても良い機会となりました。

■ 廃線&アプトの道コース

このコースは、峠の湯を出発し、普段は非公開の旧丸山変電所の公開と解説、廃線となった旧信越本線新線の1～3号の廃線トンネルや普段見ることができないめがね橋の裏側を通過し、旧熊ノ平駅、めがね橋を巡り、峠の湯に戻るものです。廃線路は普段は立ち入ることができず、レールの上やトンネルの中を歩くことは貴重な体験です。このコースも解説付きのため、参加者は廃線路を歩きながら鉄道の歴史などを学べます。右の写真のとおり、トンネルから出ると鉄橋があり、鉄橋からは紅葉が見頃の碓氷峠や裏側から見るめがね橋等絶景を望むことができます。参加者からは「紅葉の時期と重なり楽しむことができた」などの意見をいただきました。また、当該コースを選んだ理由として「廃線を歩いてみたかった」という意見も多く、好評でした。

今回は特別編ということで例年とは異なる形で実施をいたしましたが、ガイドの皆様にご協力いただき、参加者からは両コースとも非常に多くの高評価をいただきました。



松井田城址見学コースウォーキング風景



松井田城址見学コース解説風景
提供元:上毛新聞社



廃線&アプトの道コース トンネル内
ウォーキング風景 提供元:上毛新聞社



廃線&アプトの道コース
鉄橋ウォーキング風景 提供元:上毛新聞社